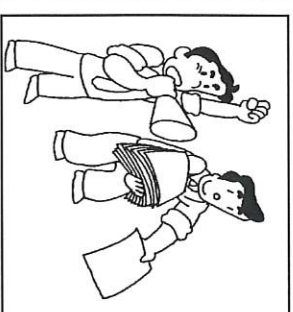


全国 検数労連

731号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
 福会館 5階
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
 メール roren@kensu.jp
 ホームページ http://www.kensu.jp/
 全国検数労働組合連合
 書記局



3月29日(水)第5回検数労連23春闘交渉 14:30~15:30
 両協会：回答精査中につき回答できない……。
回答未提示は『従業員やその家族の期待や思いを逆なでする行為』
であると強調する。

《組合主張》
 本来は3月24日(金)第5回検数労連23春闘交渉が有額回答指定日であったが

前回開催された交渉での労組主張を受け、本来なら本日の交渉で有額回答をしなければならぬのだが、24日に本支部長会議が開催された中で、現在、回答内容等を精査している段階であるため、本日の交渉では回答提示には至らない。しかるべき時期には回答をす

《日検協会》

前回の交渉の経過を受け、労組からは本日の交渉で有額回答の提示を求められているが、現時点ではまだ有額回答に向けて鋭意検討を重ねている最中である。これまでも説明してきだ通り、全日権を取り巻く環境は厳しい状況であり、そのような中で中央港運団交の経過を注視している。労組からは『主体性がない』と言われるであろうが、現状を得ないことを理解し

《全日検》

労組有額回答指定日である3月24日(金)の23春闘交渉は、労使間の都合が合わず有額回答が送られませんでした。そのような経過を踏まえ、3月29日(水)あらためて有額回答を求め第5回検数労連23春闘交渉を行いました。



労使のスケジュールが合わず本日の交渉に至った経過がある。しかし、両協会とちにも本日の交渉でも有額回答が提示できないという状況については、両協会でも従業員やその家族の期待や思いを逆なでする行為であると言わざるを得ない。様々な物価の高騰が続いている中で、職生活不安。職場では日々の人員不足による不満が沸き上がっている。それらを拭き去るべく組合要求に沿った回答の構築を強く求める。

3月20日(月)検数労連中央から瀬戸中央委員長、石渡中央書記次長の2名を招き、東北検数労連23春闘オルグを新潟で開催しました。検数労連23春闘交渉の2名を招き、東北検数労連23春闘オルグを新潟で開催しました。検数労連23春闘交渉の2名を招き、東北検数労連23春闘オルグを新潟で開催しました。

東北検数労連 新潟で23春闘オルグを開催

《参加者の声》

新潟でも急騰している光熱費や諸物価の高騰が家計を圧迫している。春闘での大幅な上げがないと娯楽費はもちろんなこと、生活費すら危つくなりかねない。65歳定年延長制が控えているなかで、両協会がこれまでの春闘で回答している56歳以上の格差回答には納得がいかない。65歳定年になるのだから格差回答は隣止るべきだ。

全国的にもそうだと思うが、『人員不足』というのが、果然問題としてある中で、なせ人材が集まらないのかを検証する必要がある。やはり地域・身分の格差などにこだう原因の一つと考えられることから、各種手当の新設や格差の解消、職員化などを早急に進めさせるべきである。



次回交渉：第6回 検数労連23春闘交渉4月6日(木) 14:30~
両協会はこれまでの検数労連機関紙に書かれている『組合員の声』を熟読して、要求にそった回答を構築せよ！